

タイトル 『ドールハウス』

作・錦織伊代

登場人物(女六人、男六人)

リカ (一八)

ユリ (三一)

由希乃 (一六)

メグミ (一八)

サクラ (二三)

麗華 (二五)

三井重男(三四) …… 店長

桐谷慎吾(二八) …… マネージャー

小峰大輔(二四) …… ボーイ

佐藤(四六) …… 毎週金曜日に来る常連客

田中(五五) …… サクラの指名客

鈴木(二六) …… サクラの指名客

舞台装置

都内にあるキャバクラ『DOLLS』の店内。

(歌舞伎町、六本木などの様に、本格的に栄えていない地域)

舞台中央にキヤストが待機するソファがある。

その周りは透明なガラスで囲まれている。

ガラスの奥と、待機場所の両横にソファとテーブルがあり、接客はそこで行われる。

上手前に二つのドア。それぞれ更衣室とトイレに繋がっている。

下手前には店の入り口。

ドアにはベルがついていて、開くたびに音が鳴る仕組みになっている。

入り口のすぐ側にはカウンターがあり、レジや電話などが設置されている。

カウンターの奥は、厨房兼、男子従業員の休憩スペースになっている。

(飲み物、灰皿等の小道具は全てここから運び出される)

小峰 え？
桐谷 あいつ月に何回生理あると思ってんだよ！
小峰 そうなんすか？
桐谷 カオリモ休みかよ。マズイなあ…
小峰 ドタキャンの嵐ですな。
桐谷 相当機嫌悪いぞ。
小峰 三井さんですか？
桐谷 他に誰がいるんだよ！ ただでさえミカがいなくなって機嫌悪いのに…
小峰 ミカさん、やっぱり飛んだんですか？
桐谷 そりゃそうだろ。連絡とれねーもん。
小峰 ロッカー空っぽでしたからね。
桐谷 お前、外行つて来い。
小峰 え、嵐つすよ？
桐谷 甘えた事言つてんじゃねーよ。来る前に客入れとかないと…
小峰 怖いっすね。
桐谷 客でも女の子でも、何でもいいから引つ張つて来い。
小峰 はい。

小峰、厨房の奥に消える。

桐谷 麗華さん、更衣室？
メグミ まだ化粧中？
由希乃 特殊メイクでもしてんじゃない？
メグミ セレブは顔作るのが大変なんだね。

二人、笑う。

小峰、厨房からコートを着て出てくる。

桐谷 インカム！
小峰 あ！（厨房に戻る）
メグミ コミちゃん、本当ドジだよな。
由希乃 でもそこがかわいい。
メグミ そう？

小峰、インカムを取って戻ってくる。

桐谷 いいの釣つてこいよ。
メグミ 行つてらっしゃーい。
小峰 行つてきます。

小峰が店を出て行こうとすると、ドアが開き店長の三井が入ってくる。

小峰 三井さん！ おかえりなさい！
三井 どこ行くんだよ。
小峰 あ、キヤッチに…
三井 後でいいから、お茶入れる。
小峰 お茶ですか？

三井
リカ ああ、温かいのな。(外に)さあ、どろどろ。
はい…

リカ 三井が合図をすると、アルバイト情報誌を手にしたリカが入ってくる。
失礼します…

リカ、不安そうな表情で店内を見回している。
皆、リカに注目する。リカ、皆の視線に気づき…

リカ あの、私やっぱり…
三井 え？

リカ 失礼します！
リカ、店を出て行こうとする。
三井、慌ててリカを引き止める。

三井 いやいやいやいや、ちょっと待ってよ。全然見てないじゃない。今、お客さんい
ないし、大丈夫だからさ、ね？
リカ …はい

リカ、三井に背中を押され、再び店内に入る。

桐谷 体験入店っすか？
リカ 違います。
桐谷 え？
三井 見学だよ。じゃあ、そこに座って待ってて貰えるかな？
リカ …はい。

三井、リカを入り口付近の席に座らせ、厨房の奥に入っていく。
桐谷 びしょ濡れじゃん。これ使って。(乾いたお絞りを渡す。)
桐谷 リカ、ありがとうございます。
桐谷 ごめんね、今暇でさ、あんま参考になんないかも知れないけど。
リカ いえ…。

小峰、厨房からお茶を持ってきて、リカに渡す。

小峰 どうぞ。
リカ ありがとうございます。…温かい。
小峰 今日からですか？
リカ え、あの、見学です…
小峰 それは？(リカが持っていたアルバイト情報誌を指差す)
リカ あ…！これは、アルバイトを、探していて…
小峰 だったらここオススメすよ。働きやすいし、いい人ばっかだし。
リカ はあ…

三井、コートを脱いで厨房から出てくる。

小峰、慌てて仕事に戻る。

メグミ ミッチー、おはよう！

三井 おはよう。かわいいじゃない、どうしたの、それ？

メグミ 昨日買ったの。見て見て、カチューシヤもお揃いな。似合う？

三井 似合うよ、萌え萌えだね。

由希乃 ミッチー、由希乃は？

三井 かわいいよ、ルーズソックスがまた堪らないね。

由希乃 やだ、親父みたい！

三井 いやあ、コスプレだと華やかでいいねえ。

メグミ なんてコスプレなの？

三井 男は皆好きだからさ。『かわいいドル達がい思い思いの衣装に身を包み、お待ち

しております』

由希乃 何それ？

三井 今日のキャッチコピー。せっかかわいいんだから、いっぱい見てもらわなきゃ

な。

二人 はあーい。

よし、今日も雨にも負けず頑張ろうな。

三井 (電話で)…もしもし、メグタンだよ。何してたの？ え、お家？ 行けない

よ、お仕事中でもん。じゃあ、タックンがメグタンに会いに来てよあ…

メグミ、通話しながら店の外に出て行く。

由希乃も。(電話を掛け始める)

三井 おつ、頑張れよ！

由希乃 (電話で) もっしー、おっしー、今日来ないの？

由希乃、通話しながら外に出て行く。

三井、リカの所に来て、隣に座る。

三井 ごめんね、待たせちゃって。

リカ いえ。

三井 どう？

え？

来て見た感想は。

なんか、もっとキラキラした世界を想像してました。

うちはアットホームを売りにしたお店だからね。

更衣室のドアが開き、チャイナ服姿の麗華が出てくる。

麗華、リカ達の目の前を通り過ぎ、カウンターに向かう。

三井 おはよう。いやあ、キレイだねえ。

麗華 おはようございます。

三井 色っぽいなあ、よく似合ってるよ。

麗華 どうもありがとう。

三井 今日も誰か来てくれるのかな？

麗華 連絡してはいるんですけど、この天気じゃどうかしら。

三井 そうだよな。でも呼んでくれたら嬉しいなあ。

麗華
三井

もう一度、連絡してみます。
ありがとうございます、麗華ちゃんがナンバーワンの日も近いかもなあ。

麗華、ポーチから携帯を取り出し、外に出て行く。

リカ

すごい… モデルさんみたい。

三井

彼女、先週入ったばかりなんだよ。

リカ

そうなんですか？ やっぱり東京にはキレイな人が多いんですね。

三井

東京に多いんじゃないよ。環境が女を変えるんだよ。

リカ

え？

三井

ここにいと、皆キレイになる。着飾って、男の前に出るだけで女は花を咲かせるからね。

リカ

そうなんですか？

三井

一ヶ月後には皆、別人になるから。表情が輝いてくるし、服装も持ち物も変わってくる。

リカ

へえー…

三井

いい仕事だよな。俺、女だったら絶対やってるもん。お酒作って、笑ってるだけでお金になるんだからさ。

リカ

あの、こういうお仕事ってどれくらい稼げるものなんですか？

三井

お金、困ってるの？

リカ

…はい。

三井

どれくらい？

リカ

え？

三井

どれくらい必要なの？

リカ

えっと…、二十万くらい…

三井

欲しい物でもあるの？

リカ

あの…、家…

三井

家？

リカ

友達の家に住候してて…、上京してきたばかりで…

三井

そうなんだ。それはお金いるよなあ。

リカ

はい…

三井

やってみればいいじゃない。すぐに貯まるよ。

リカ

本当ですか？

三井

時給三千円でいいよ。

リカ

三千円！

三井

ああ、困ってそうだからさ。力になるよ。

リカ

でも、私にできるの？

三井

大丈夫、大丈夫。実はね、さっきの子達も最近始めたばかりなんだよ。

リカ

そうなんですか？

三井

すぐにできたよ、簡単な仕事だし、一から面倒見るからね。

リカ

へえー。あの、あと、触られたり、脱いだりなんて事は…

三井

ないない、TVの見すぎだよ。不安になる事は何もなし。

リカ

はい…。あの、お願いします。私をここで働かせてください！

三井

いいの？

リカ

はい！ 初心者ですけど、一生懸命頑張ります。だから、お願いします！

三井

わかった。じゃあ、今日からよろしくね。

リカ

ありがとうございます！

三井

ありがとうございます！

リカ

ありがとうございます！

三井　とりあえず着替えようか。シンゴ、案内してあげて。
桐谷　はい。ロッカーどうします？
三井　ああ、…一個空いてただろ。
桐谷　了解です。じゃあ、こっちな。

桐谷、更衣室のドアを開け、リカに説明をする。

桐谷　ロッカーはここ使つて。お財布だけ後で預かるから。

リカ　あの、名前が…

桐谷　剥がしちゃっていいよ。

リカ　はい。

桐谷　奥に掛かっている服、好きなの着ていいよ。チアでもバドでもよく自由に。
リカ　はあ…

桐谷、更衣室から出てきて、ドアを閉める。

桐谷　どこで拾ったんすか？

三井　フラフラしてたんだよ、フロムAを抱いてな。

桐谷　ミカさん系ですよな。

三井　そうか？

桐谷　田舎っばさが抜けたら、そんな感じですよ。

三井　じゃあ、ミカの客を繋げるかもな。

桐谷　急にばっくれましたからね。

三井　これからクリスマス、忘年会シーズンだったのによ。由希乃とメグミ、飛はないように管理しとけよ。

桐谷　はい。

店の入り口のドアが開き、ユリが入ってくる。

続く